

看護いばらき

No.108

2015年3月30日



CONTENTS

- | | |
|-----------------------------------|-----------------------------------|
| ■ 平成26年度茨城県看護研究学会 …… P2～3 | ■ 平成26年度茨城県医療安全研修会 …… P8 |
| ■ 中堅看護職研修
「メンタルヘルスと看護倫理」 …… P4 | ■ eナースセンターリニューアル …… P9 |
| ■ 保健師職能委員会ニュースレター …… P5 | ■ プレパパ・パパ応援団の
ブログを開設しました …… P9 |
| ■ シリーズ『地域包括ケアシステム』 …… P6 | ■ WEBでの研修申し込みについて …… P10 |
| ■ そよかぜ 私の専門～認定看護師～ …… P7 | ■ 平成27年度
新規入会者の皆様へのお知らせ …… P11 |
| ■ 平成26年度
認定看護管理者教育課程修了式 …… P8 | ■ 協会からのお知らせ …… P12 |

会員数(平成27年3月16日現在)

合計 13,314人 保健師325人 助産師557人 看護師11,232人 准看護師1,200人

平成26年度茨城県看護研究学会

—生活を支える看護 その人らしく生きるために—

と き:平成27年2月18日(水)

ところ:茨城県立県民文化センター

参加者:414名



開会あいさつ



村田会長によるあいさつ

いつの時代にあっても、多くの人たちが病気を抱えても住み慣れた地域で、自分らしく暮らしたい、最期を迎えたいと願っています。高齢期に虚弱になっても、いかにして生活の質を保って人生を全うすることができるかという難題に、今医療は直面していると思います。このような大きな課題に長年在宅サービスにかかわってきた訪問看護師たちは、医療依存度の高い人たちが在宅療養を継続していくことが、とても困難なことも経験してきたと考えます。しかし、看護職はそこに踏みとどまるのではなく、地域でのケアシステムをいかに構築し、その中での自分たちの役割や、働き方、求められているもの等をこの学会を通して考えていただければと思います。

特別講演

『在宅緩和ケア —その人らしく—』

医療法人パリアン看護部長

NPO法人すみだ在宅ホスピス緩和ケア連絡会あこも代表

川越 博美 先生

座長:鈴木 英美 独立行政法人国立病院機構茨城東病院 看護部長



ホスピスケアでのデスエデュケーション

「単に看取りの方法を教えるだけでなく、患者が死に向かっていることを正しく理解してもらう意味がある。教育とは、人生の過程における人間の成長、発達を支えるものである。在宅ホスピスにおける死の教育は、医療者に委ねた死ではなく、本人家族が自分たちの人生の最期を創るために重要なことである。」と話されていました。

先生自身の闘病、生活者であるその人らしさを支えること、緩和ケアの姿勢、デスエデュケーション、グリーフケアなどとても感銘深い内容でした。

回演発表 23題

- 第1群：地域ケア 5題
- 第2群：手術看護 5題
- 第3群：教育指導 4題
- 第4群：ブラッシュアップ研修
「看護研究」実践編Ⅰ 5題
- 第5群：ブラッシュアップ研修
「看護研究」実践編Ⅱ 4題



示説発表 16題

- 第6群：看護管理 4題
- 第7群：教育 4題
- 第8群：患者ケアⅠ 4題
- 第9群：患者ケアⅡ 4題



参加者の声

- * その人らしい最期の日々を支える看護、最近よく問われます。私の地域では、まだまだ「その人らしい最期」の選択肢が少ない現状です。支える力になれるように今後の「まちづくり」をどうすべきか考えさせられました。
- * 死を受け入れられるように関わることを自分のステーションに戻り、今後に活かせるように伝えたい。(訪問看護師)
- * 緩和ケアの大切さや寄り添う看護が重要であると感じ、個別性を大切に、看護をしていきたいと考えた。
- * 他施設の発表を聞き、自身の看護を振り返ることで、不足していた部分や経験したことがなかった部分を知ることができた。(発表者)
- * 発表し、他者の意見も頂き、さらなる課題が見え、やる気が出た。(発表者)
- * 初めて看護研究学会に出席させていただきました。パワーポイントの作り方や抄録の書き方が大変参考になりました。発表時に、聞き取りやすい話し方やスピードを学ぶ良い機会となりました。
- * 看護研究を通して、私に関わっていない診療科の最近の看護を学ぶことができました。良い学びの場となりました。
- * 自分が行う看護研究に大変役立つ内容が多く、参考になった。



中堅看護職研修「メンタルヘルスと看護倫理」

開催日：平成26年12月16日(火) 会場：看護研修センター 受講生：71名

当研修は、中堅看護職として必要なメンタルヘルスと看護倫理を学び、看護実践能力の向上につなげることを目的に開催されました。



三木先生による講義

■フィッシュ哲学の要素

- ・遊び心を取り入れる
- ・人を喜ばせる
- ・相手に注意を向ける
- ・態度を選ぶ



齋藤先生による講義

【午前の部】

講義：「メンタルヘルス」

筑波大学人間総合科学研究科准教授 三木 明子先生

内容：メンタルヘルスでは、職員自身のセルフケアが心の健康づくりには必要であり、また、病院内では産業保健スタッフ等によるケアも重要であると述べられていました。

メンタルヘルス不調となる原因の一つにハラスメントがあり、もっとも強いストレスラーとして、嫌がらせ・いじめ・暴力といわれており、これらはその場にいるすべての人が、直接的・間接的被害者または加害者となる可能性があり、予防するためにも職場環境は重要であると述べられていました。

また、職場環境を変える活気あふれる職場づくりとしてフィッシュ哲学について紹介されました。

【午後の部】

講義・演習：「看護倫理」

東京工科大学

医療保健学部看護学科教授 齋藤 茂子先生

内容：日常生活と現場での倫理的問題を取り上げ、参加者と共に考え倫理的視点の理解を深めていきました。演習は実践に即した内容であり、活発な意見交換がされていました。

倫理綱領に基づき、用語や定義について事例を交えてわかりやすく説明されていました。

参加者の声

- ・自分の行動を見つめなおすことができた。
- ・新人の指導でほめる・責めない姿勢が大切であるが、かかわりの難しさを実感した。
- ・自分の病棟や上司を思い起こしながら受講できた。
- ・社会現象によって世代の考え方の違いが、うつ症状の違いに現れていることが分かった。
- ・実践してきたことを概論化し説明されていたので理解が深められた。
- ・改めて倫理を学び、用語の意味を理解できた。
- ・経験を交えた説明で、倫理を学びながら自分自身のキャリアアップ・メンタルヘルスに繋がった。
- ・倫理を学び続ける意義が理解できた。

保健師職能委員会ニュースレター



あいさつ

保健師職能委員会活動に、ご理解ご協力をいただきありがとうございます。本年度は、研修会、保健師の活動基盤に関わる基礎調査の参加呼びかけ、統括保健師の配置状況把握等を行いました。調査や研修等を通して職能委員会活動は、「実態把握と意見集約」、「課題発見」、「活動展開」であり、この活動(PDCA)は保健師活動そのもの！です。ニュースレターが「活動の可視化」につながることを願い、今後も各分野で働く保健師間の連携をつくり、元気で働けるための一助となるよう活動していきますので、よろしくお願いいたします。

【保健指導ミーティング】平成 26 年 12 月 15 日(金)開催

事例検討会を通じた新任期や指導保健師のスキルアップと各職域の保健師の交流も目的の一つとして、行政、産業、健診、医療と各方面で働く保健師が参加し、お互いのキャリアをベースに保健師の視点を確認しあう場となりました。

事例検討会は、①準備が大変 ②事例提供者の評価をしがち ③事例の共有だけで終わるなど発言しにくい否定的な意見も多いものです。

しかし、日本看護協会が開発したこの事例検討会は、①情報整理のプロセスを重視する ②アセスメントを言語化する ③具体的な支援と役割を決定することで参加者全員が同じ支援目的に向かって、自ら考え行動できるように工夫されたものでした。



多職種と事例を共有する機会の多い保健師にとってシステム化された事例検討方法は事例の円滑な問題解決のみならず、人材育成に至るまで広く活用できるものであると感じました。来年度以降も開催予定ですので、是非体験していただきたいと思います。



【地域包括ケアシステム研修】平成 27 年 2 月 28 日(土)開催 開催

地域包括ケアシステムは、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供されるものです。システムが構築されれば、要介護者だけに限らず、住民誰もが安心して住みなれた地域をつくる、まちづくりになります。

研修会は、平野かよ子先生、村下伯先生を講師にお招きし開催しました。

保健師以外にも、看護師、施設職員等多職種 73 名の参加があり、グループワークでは意図的に所属をバラバラにして普段交流の少ない看護職同士が交流できるよう工夫した結果、活発に意見交換ができ、顔の見える交流を行うことができました。

講師からは、「発信して伝え共有する、広がりのあるダイナミックな活動」「情報交換を繰り返し、それぞれの立場で支えあう活動」が重要であるとコメントをいただきました。

今後も、参加者自身の気づきや活動に発展できる研修を展開していきたいと思います。



☆保健師の活動基盤に関わる基礎調査

* 回答者は 649 人と目標の 6 割を達成しました。ご多忙のなかご協力いただきありがとうございました。

☆情報共有のためメール配信の登録をお願いします

①所属名 ②氏名 ③メールアドレス ④TEL/FAX を看護協会内保健師職能委員会に連絡ください

シリーズ 第2回 『地域包括ケアシステム』

前回は、重度な要介護状態となっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを、人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・介護予防・生活支援・住まいが一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築が求められていること、また、医療の役割が、これまでの「治す医療・病院完結型」から、地域全体で治し「支える医療・地域完結型」へと転換してきていることを中心にご紹介しました。

今回は、「在宅医療・介護連携拠点事業」について、さらに詳しくご紹介します。

在宅医療・介護連携拠点事業は、高齢者の増加、価値観の多様化に伴い、病気をもちつつも可能な限り住み慣れた場所で自分らしく過ごす「生活の質」を重視する医療が求められていることを背景に、在宅医療を提供する機関等を連携拠点として、多職種協働による在宅医療の支援体制を構築し、医療と介護が連携した地域における包括的かつ継続的な在宅医療の提供を目指すモデル事業です。茨城県の補助事業として、平成26年度は当協会を含め県内15拠点が取組んでいることを前回ご紹介しました（詳細は前回参照）。

在宅医療・介護連携拠点事業は、今後、市区町村が主体となって取組が行われていきます。可能な市区町村は平成27年4月から取組を開始し、平成30年4月には全ての市区町村で実施することになっています。そして、取組が求められている事業項目は、以下の8つです。厚生労働省では、各市区町村での取組を支援するツールとして、在宅医療・介護連携のための市町村ハンドブック（市町村が在宅医療・介護連携を進める上での留意点や具体的な施策の事例を紹介）や在宅医療推進のための地域における研修運営ガイド・研修テキスト等を紹介しています。ぜひ、一度ご覧ください。

（参考：厚生労働省ホームページ 2015.2.23： <http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000061944.html>）

1 地域の医療・介護サービス資源の把握

地域の医療機関の分布や医療機能を把握し、地図又はリスト化 等

2 在宅医療・介護連携の課題と抽出の対応の協議

地域の医療・介護関係者等が参画する会議を開催し、現状と課題の抽出や解決策等を協議 等

3 在宅医療・介護連携に関する相談の受付等

在宅医療・介護連携の支援窓口の設置・運営（連携の支援、ケアマネジャー等から相談受付） 等

4 在宅医療・介護サービス等の情報の共有支援

地域連携パス等の活用による在宅医療・介護の情報共有支援、在宅看取り、急変時の情報共有 等

5 在宅医療・介護関係者の研修

グループワーク等を通じた多職種連携の実践、介護職種を対象とした医療関連の研修会 等

6 24時間365日の在宅医療・介護サービス提供体制の構築

在宅医療・介護サービスの提供体制の整備 等

7 地域住民への普及啓発

在宅医療・介護サービスや在宅での看取りについて（シンポジウム開催やパンフレット作成） 等

8 二次医療圏内・関係市町村の連携

二次医療圏内の病院からの退院事例に関する情報共有方法の協議（県、保健所等の支援の下） 等

今後は、市町村を中心に、各地域の実情に応じた柔軟なシステムを構築していくことが求められます。市町村行政が中心的な役割を担い、市郡医師会が地域の医療をつなげる旗振り役となって、地域で連携していくことが重要です。看護職は医療機関、訪問看護、在宅・介護施設といった地域のさまざまな場で、質の高いケアを提供するとともに、対象者（患者・利用者）と家族の生活を予測し、地域での多職種連携の中心となる橋渡し役的な存在です。各地域で構築されていく地域包括ケアシステムの中で鍵となるのが、地域で活躍する看護職であると考えています。

（在宅医療・介護連携拠点事業担当：上野）



私の専門 ～認定看護師～

JAとりで総合医療センター 透析看護認定看護師 石川 弘子



『患者さん一人一人のより良い生活を目指して』

私は 2005 年から透析看護認定看護師として活動しています。透析治療というと、飲食や内服の自己管理、一日おきの通院などさまざまな制約が伴い、辛くて大変というイメージがありますが、透析看護の目標は、患者さんそれぞれが透析治療を受けながら自分らしく生活を送ることです。その目標に向かって、患者さん個々の生活に看護師としての関心を寄せてよく考えることを大切にしています。



透析業務の様子

高齢の透析患者さんが増える中で、管理や指導優先の看護ではなく、患者さんの持つ力を信じ、できることを支えながら、患者さんが無理なく透析とともに生きることができるよう支援したいと考えています。

また、透析が必要となった患者さんの「腎代替療法選択」に関わる看護は、資格認定後の私のライフワークとなっています。これまで患者さん一人一人の思いをお聞きする中で、多くのことを学ばせて頂きました。腎機能の限界を宣告されたことへの深い悲嘆や葛藤、自分の身体や生活はどうなってしまうのかという大きな不安など、患者さんの揺れ動く気持ちに今後も真摯に向き合っていきたいと思います。



療法選択面談の様子



透析室

平成26年度 認定看護管理者教育課程修了式



認定看護管理者教育課程修了者の皆さん

平成 26 年度看護管理者教育課程の修了式が、平成 27 年 3 月 10 日(火)に水戸プラザホテルにおいて挙行されました。

村田会長より修了証を授与された修了生（ファーストレベル 65 名、セカンドレベル 20 名）は、安堵感と共に質の高い看護サービスを提供する看護管理者としての責任の重さを実感し、緊張した面持ちで臨んでおりました。修了生を代表して湯原里美さん（セカンドレベル）から「研修の学びを糧に、看護管理者として保健医療福祉を取り巻く環境の変化やヘルスニーズを把握し、変革を起していくため行動していきます」と、力強い挨拶がありました。

特別講演は「看護管理者のためのコンピテンシー・モデル～看護管理者に求められる能力～」のテーマで、国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 副院長・看護部長の宗村美江子先生にご講演をいただきました。「コンピテンシー・モデルの開発」から「運用の結果」までのご紹介があり、コンピテンシー・モデルはこれからの看護管理者の行動指針や評価指標として活用できることを学びました。宗村先生から「其々の立場でコンピテンシー・モデルは部分的にも使うことができます。明日からは是非実践してみてください！」と熱いエールが送られ、修了生はこれからの看護管理者の育成や人材育成について、モチベーションを高める機会になりました。修了生のこれからの御活躍を期待しております。



宗村美江子先生による講演

平成26年度茨城県医療安全研修会

平成 27 年 2 月 1 日（日）茨城県立県民文化センター大ホールにおいて、医師・薬剤師・看護師など多職種の医療従事者約 500 名参加のもと開催されました。

今年度は、現在も西アフリカではエボラ出血が流行し、感染が拡大することも危惧されており、医療機関では 2 次感染防止に向けた基本対策が不可欠ということから、『エボラ出血熱』をテーマとし、開催されました。



中島一敏先生の講演

特別講演では「国際的な感染症危機管理—エボラ出血熱の現状と対策」と題し、東北大学病院検査部 副部長兼講師 中島一敏先生の講演があり、環境の感染伝播への関与・患者の環境清掃・消毒法・医療廃棄物の処理について具体的に聞くことができました。また、感染危機管理における院内感染対策の重要性について、日常の感染対策を通じた能力強化が大切であると述べていました。

また、「个人防护服着脱のポイント」として、感染管理認定看護師による个人防护具の種類・使用時の注意点について、実演を交えながら説明があり、日頃からの危機感の意識づけが大事であることを認識できました。



感染管理認定看護師による実演

平成 27 年
4 月 13 日

看護職のための無料職業紹介サイト 「eナースセンター」リニューアル！

看護職のための無料職業紹介サイト「eナースセンター」がリニューアルし、さらに使いやすくなります。

※新eナースセンターへのログイン・パスワードはそのまま継続して利用できます。(既に登録されている方)

新機能



① スマートフォン対応になります！



② 求人施設を地図上で検索できます！



③ 自分の希望に合った求人施設が表示されます！（自動マッチング）



④ 求人施設への直接応募ができます！



⑤ 求人・求職登録時の入力項目が少なくなりました！



⑥ 求職登録しなくても体験版が利用できます！



4/1 ~ 4/12 までの期間は、新eナースセンターへの移行作業のため、eナースセンターの利用はできませんので、ご注意願います

プレパパ・パパ応援団のブログを開設しました

現在奥さんが妊娠中のプレパパの皆さん、「今奥さんにどのような体の変化が起こっているのかわからない」「奥さんを労ってあげたいけど、どんなことをしてあげられるのかわからない」等の悩みはありませんか？

育児中のパパの皆さん、「奥さんと一緒に育児をしたいけど、どんな関わりをしたら良いのかわからない」「他のパパたちはどのような育児参加・育児分担をしているのか知りたい」なんて思ったことはありませんか？

そんな悩みや疑問の参考になるよう、プレパパ・パパ応援団が、自らの日常の紹介や応援メッセージを発信していきます！！



プレパパ・パパ応援団ブログ (Ameba ブログ)
<http://ameblo.jp/prepapa-papa2014/>



「プレパパ・パパ応援団」団員紹介！！
※全員男性看護師です。

☆明仁さん

2歳の男の子と5か月の女の子のパパ

☆Yタローパパさん

3歳の男の子と1歳の女の子のパパ

☆BOSSさん 男の子のパパ

☆カッシーさん 1歳の男の子のパパ

☆やなひろさん 3歳と1歳の女の子のパパ

WEBでの研修申し込みについて

茨城県看護協会ホームページ（<http://www.ina.or.jp>）から研修の申し込みが可能です。

WEBでの研修申し込みは、個人（会員）からの申し込みのみ対象です。

なお、施設ごとの申し込みは従来どおりの方法です。※「平成 27 年度教育計画冊子」4 ページ参照

■WEBでの研修申し込みの流れ

①茨城県看護協会のホームページから研修の一覧より受講希望の研修をクリック



②「WEB申込」をクリック



③「申込」ボタンをクリック ※画面に従ってご入力ください。



④本人に申込確認のメールが届く

注）申込確認メールは受講が確定されるものではありません



⑤各研修申し込み締め切り後、10 日前後に受講の可否がメールで届く。



⑥受講決定者はメールに記載されている URL にアクセス・パスワードでログイン



⑦コンビニ決済入力フォームから希望のコンビニ決済を選択し、画面に従い確定する。



⑧入金方法のメールが届きますので、コンビニの店頭で「受付番号」もしくは「バーコード」を利用し、入金を行う。



◆ WEB より申込された方の受講料はコンビニでの振込になります。
注）郵便局からの振り込み及び郵便局からの振り込みへの変更はできません。

◆ 振込手数料は受講者の負担になります。

◆ スマートフォンからのお申込者は、協会からのメール（kensyu@ina.or.jp）の受信を可能にしてください。

◆ 受講料（教材費込）5,000 円未満研修のみのお申込みになります。

平成 27 年度 新規入会の皆様にお知らせいたします。

入会金及び会費納入方法について

1 納入金

- ・ 入会金 12,000 円（茨城県看護協会へ初めて入会する方のみ入会費が必要です）
- ・ 会 費 10,000 円（内訳）日本看護協会会費 5,000 円
茨城県看護協会会費 5,000 円

2 納入方法

(1) 銀行振込の場合

振込先：常陽銀行 下市支店 普通預金

口座番号：9010548

口座名：公益社団法人茨城県看護協会 会長 村田 昌子

(2) 郵便振替の場合

口座番号：00170-6-86230

口座名：公益社団法人茨城県看護協会

※平成 27 年度新入会員の入会金は、入会申込時に年会費と併せて
納入いただくことになります。

3 送付いただく書類

送金と同時に、次の書類を当協会宛にお送りください。

- ① 平成 27 年度施設会員内訳票・入会金内訳票
- ② 平成 27 年度「入会申込書及び継続申請書」



*改めて領収証は発行しませんので、払込時の「振込金受取書」又は「郵便振替払込請求書兼受領証」を保管願います。



理事会報告 平成26年度

第7回理事会 2月20日(金)

協議事項

- 1 平成26年度事業報告(7～1月)について承認
- 2 平成27年度事業計画(案) 承認
- 3 平成27年度教育計画(案) 承認
- 4 平成26年度第3四半期会計報告(案)について承認
- 5 平成27年度予算(案)について 承認
- 6 平成27年度通常総会プログラム(案)について承認
- 7 平成27年度職能集会プログラム(案)について承認
- 8 平成27年度優良看護職員候補者の推薦について承認
- 9 平成28年度日本看護協会代議員及び予備代議員理事会推薦枠について 承認

報告事項

- 1 JMAT茨城研修会について
- 2 日本看護協会平成26年度第2回訪問看護連絡協議会合同会議
- 3 准看護師制度問題に係る検討委員会報告
- 4 第51回いばらき看護の祭典に係るプログラムの変更
- 5 「いま地域医療を考えるinいばらき」四師会協働地域包括ケア・シンポジウムについて

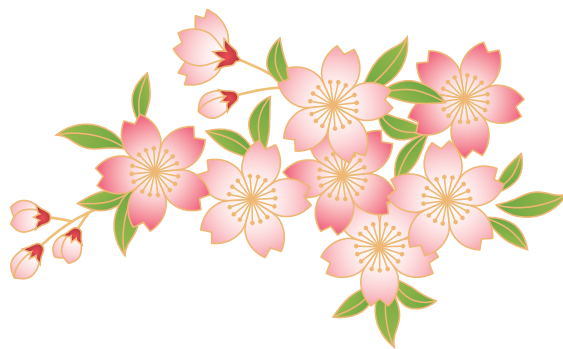
第8回理事会 3月20日(金)

協議事項

- 1 平成27年度重点事業及び事業計画(案)について 承認
- 2 平成27年度収支予算書(案)について 承認
- 3 平成27年度資金調達及び設備投資の見込み(案)について 承認

報告事項

- 1 平成26年度日本看護協会第6回理事会報告
- 2 平成26年度日本看護協会第2回全国職能委員長会報告
- 3 平成27年度職能集会について
- 4 平成28年度日本看護協会代議員及び予備代議員理事会推薦枠



『第51回いばらき看護の祭典 ～看護の心をみんなの心に～』が開催されます。

日時 平成27年5月17日(日) 12:00～15:00

場所 茨城県立県民文化センター 大ホール 水戸市千波町東久保 697 番地

今回は、特別講演の講師としてNHKプロフェッショナルにも取り上げられました「市ヶ谷のマザーテレサ」と呼ばれております白十字訪問看護ステーション統括所長の秋山正子先生をお迎えいたします。

また、ロビーイベントといたしまして「まちの保健室」を実施する予定です。(10:00～12:00実施)なお、参加申込方法等の詳細につきましては、後日、茨城県看護協会ホームページ等でお知らせいたします。

編集後記

日毎にのどかになり春の装いを感じる季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか？

新人を迎え入れる準備に多忙なことと思いますが、ほっと一息つく時間に「看護いばらき」を皆様に読んでいただけるように、魅力ある紙面づくりに努めていきたいと思っております。

皆様のご意見・投稿をお待ちしております。

広報委員一同